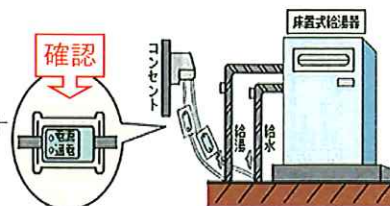


給湯機

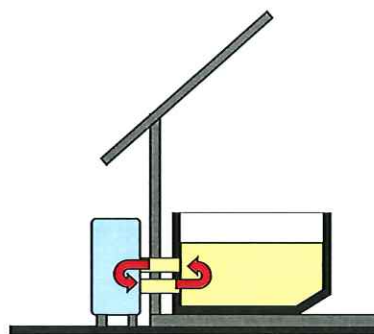
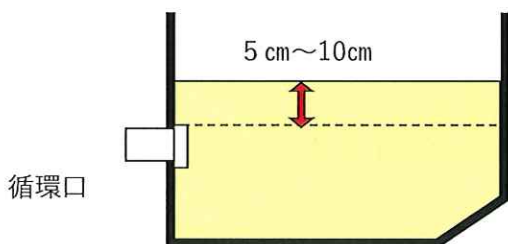
①凍結防止ヒーターのコンセントの差込みの確認

※差込みしていても断線している為に凍結する場合がありますので、通電しているかどうかの確認をお願い致します（ヒーターに通電確認のランプがあります。）



ボイラーは気温が下がると運転スイッチ「入」「切」に関係なく、内蔵している凍結防止ヒーターが入り保温します。電源プラグを抜いたり、ブレーカーを「切」にしないでください。特に循環タイプのボイラーは、冷え込んでくると自分で本体を守るために、浴槽とボイラー間で水を循環して凍結を防止します。その為に、浴槽内には循環口より5～10cm上まで水がないと水をまわすことができなくなり、凍結する可能性がありますので、冬期間は日中でも長時間浴槽を空にする事は凍結の原因となりますので、ご注意ください。

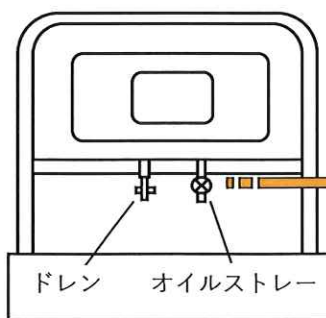
（清掃等で短時間空にする事は問題ありません。）



②オイルタンクの油量とオイルストレーナー内のゴミ及び水のたまりの除去

■オイルタンクについて  
オイルタンク下部にあるドレン口より排水します。排水後はドレン口のバルブを閉め忘れないように。

■オイルストレーナ（ろ過装置）の掃除  
オイルストレーナのケースにゴミや水がたまった場合、フィルターを掃除



[お問合せ先]  
株式会社 高勝の家  
大崎市古川幸町1丁目4-31  
TEL：0229-23-8008